

## はじめに

地方分権の進展に伴い、地方の行財政基盤の拡充と自立能力の向上が求められるなかで、バブル崩壊以降の景気の低迷、国及び地方の長期債務残高の拡大、少子高齢化の進展等、地方行財政を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

大淀町においてもこのことは例外ではなく、地方交付税をはじめとする歳入が減少する一方で、重要施策の実施による歳出の拡大といった傾向にあります。また、今後においても高齢化率の上昇等による自主財源の減少と行政経費の拡大が予測されます。

このような状況を踏まえながら大淀町は、住民が今後も安心して暮らせるまち、さらには誰もが住みたくなるまちを築くため、行財政全般にわたる改革を推進します。

この改革は、現在の厳しい状況を逆手にとって改革の起点と位置づけ、地方自治の原点に立ち帰り、中長期的な展望のもとで必要最小限の経費で質の高い行政サービスを展開するためのものです。

また、地方自治のひとつの要素である「住民自治」についても、住民と行政の協働の理念のもと、既成概念にとらわれず「真の住民自治」の確立をめざします。

行財政改革は、単なる目的ではなく、未来へのステップとして、住民、議会そして行政が一体となって創り上げていくものです。

平成17年2月

大淀町行財政改革推進本部

## 目次／INDEX

### 序章

はじめに	1
行財政改革についてのQ & A	2
<b>第1章 「リフォームプランおおよど」の策定</b>	
基本的な考え方	3
推進体制	5
<b>第2章 大淀町の現状と課題</b>	
国と地方	6
現状と課題	7
改革の必要性	8

### 第3章 基本方針

6つの柱とアクションプラン	9
---------------	---

### 第4章 改革達成への道のり

全体スケジュール	11
実施状況の管理（見直しと改善）	12

行政改革推進委員会答申	13
どうなる三位一体の改革	14